

週刊

鋼構造ジャーナル

2022

10/31

NO. 2107

週刊(毎週月曜日発行)／購読料・1カ年52,500円、6カ月28,500円(税・送料込み)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中貴士 編集人・大熊珍／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077／大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603／札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)3636／振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873／郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 創立50周年記念式典と祝賀会挙行／長崎県鉄構工業会 (2面)
- H形鋼は上仲間が一服／物調10月資材価格調査…… (5面)
- 建設マスター487人を顕彰／国土交通省…… (6面)
- 全国9会場で鉄骨製作管理技術者試験／技術者教育センター (7面)
- 溶融亜鉛めつき業など3項目／特定技能外国人材に追加 (10面)
- 特定技能の区分再編を報告／東京鉄構工業協同組合…… (11面)
- Hグレード工場ロボ／藤嶋鉄工 (秋田) …… (14面)
- 山形県で南型公共施設工事受注／カメイ…… (16面)
- シリーズ「女性活躍」／事例に学ぶ⑯二寸房 (札幌) (17面)
- 高炉各社がCN対応拡充／「マスバランス方式」を採用 (18、19面)



①企業概要について説明を受ける(メタルプロダクツ)②海外現地法人スタッフとウェブ会議(同)③工場内を見学(ムラヤマ)④視察団一行(同)

2日間にわたり国内研修

SASST

山形県のファブ2社を視察

建築鉄骨構造技術支援協会(略称・SASST、理事長 稲田達夫・元福岡大学教授)は20、21日の2日間にわたり国内研修を実施。稲田理事長はじめファブ、資機材メーカー関係者ら13人が参加して山形県のファブ2社を視察した。視察団一行は20日午後、Rグレードファブのメタルプロダクツ(最上郡真室川町)を訪問した。同社は月間1000トの加工能力を持つ東北圏最大の二次部材加工業者。企業概要やペーパーレス化などの取り組み・特徴について説明を受けた後、工場内では、さまざまな構造体に柔軟に対応できるよう、あえて「多関節型溶接ロボットを導入してはいない」という柱大組溶接工程をはじめ各ヤードを熱心に見学した。

明を受けた後、工場内に入り、普段は目にする機会が少ない二次部材製作の各工程を見て回った。その後、インドネシアとヨーロッパの同社現地法人スタッフとのウェブ面談も行った。特にウクライナに隣接するモルドバに事務所を構えるヨーロッパのスタッフとはロシア侵攻の影響などについても意見を交わした。

翌21日には1926年創業の圏内屈指の大手ファブ、ムラヤマ(本社・山形市)の酒田工場(酒田市、Hグレード)を視察した。企業概要の紹介では、20年以上にわたって推進し、これまでに約130件の施工実績があるという25度レ型狭開先などについても説明を受けた。引き続き社内の鉄骨製作業務などを収録したPRビデオを視聴。工場内では、さまざまな構造体に柔軟に対応できるよう、あえて「多関節型溶接ロボットを導入してはいない」という柱大組溶接工程をはじめ各ヤードを熱心に見学した。

32ページ